臨床研究に関する情報公開について

天性内反足患者で、経過観察中に下肢3DCTを行った男19例、女1例、60足(患側30足、健側30足)を対象としました。 研究の目的・意義 先天性内反足では、内反足の治療後にもうちわ歩行が残存することが多く、その原因の一つに下腿内捻症が考えられていますが、先天性下反足と下腿内捻症の関係についてはまだ解明されていません。本研究の目的は、下腿内捻角の測定方法について、今回我々が考案とが測定法の信頼性を検討し、先天性内反足と下腿内捻症の関係を調査することです。 研究方法 対象患者さんのカルテ情報を改めて(後ろ向きに)確認し、性別、生齢、診断名、手術日、術式、3DCT画像、下腿内捻症の有無について調査しました。 研究期間 承認日~2024年3月31日まで 研究に利用する情報 患者さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 一性別、年齢、これまでに撮影された骨盤・股関節の単純X線が真。患者さんもしくは代諾者が解析対象となることを拒否された場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者まで連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析がおこなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承くたさい。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなことと 「ない、なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなことを	研究課題名	3DCT を用いた下腿内捻角測定法の信頼性と先天性内反足と下腿内 捻症の関係
研究対象	研究機関の名称	自治医科大学とちぎ子ども医療センター
天性内反足患者で、経過観察中に下肢3DCTを行った男19例、女1例、60足(患側30足、健側30足)を対象としました。 研究の目的・意義 先天性内反足では、内反足の治療後にもうちわ歩行が残存することが多く、その原因の一つに下腿内捻症が考えられていますが、先天性下反足と下腿内捻症の関係についてはまだ解明されていません。本研究の目的は、下腿内捻角の測定方法について、今回我々が考案とが測定法の信頼性を検討し、先天性内反足と下腿内捻症の関係を調査することです。 研究方法 対象患者さんのカルテ情報を改めて(後ろ向きに)確認し、性別、生齢、診断名、手術日、術式、3DCT画像、下腿内捻症の有無について調査しました。 研究期間 承認日~2024年3月31日まで 佛者さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 一性別、年齢、これまでに撮影された骨盤・股関節の単純X線が真。患者さんもしくは代諾者が解析対象となることを拒否された場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者まで連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析がよこなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承くたさい。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなことを	研究責任者の氏名	滝 直也
研究の目的・意義	研究対象	2006 年 2 月から 2019 年 1 月までに当院を受診した片側性特発性先
研究の目的・意義 左天性内反足では、内反足の治療後にもうちわ歩行が残存することを多く、その原因の一つに下腿内捻症が考えられていますが、先天性性反足と下腿内捻症の関係についてはまだ解明されていません。本格究の目的は、下腿内捻角の測定方法について、今回我々が考案した測定法の信頼性を検討し、先天性内反足と下腿内捻症の関係を調査することです。 研究方法 対象患者さんのカルテ情報を改めて(後ろ向きに)確認し、性別、4齢、診断名、手術目、術式、3DCT 画像、下腿内捻症の有無について調査しました。 研究期間 承認日~2024年3月31日まで 研究に利用する情報 患者さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 →性別、年齢、これまでに撮影された骨盤・股関節の単純 X 線準真。患者さんもしくは代諾者が解析対象となることを拒否された場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者まで連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析が認こなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承くなさい。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなことを		天性内反足患者で、経過観察中に下肢3DCTを行った男19例、女11
多く、その原因の一つに下腿内捻症が考えられていますが、先天性下 反足と下腿内捻症の関係についてはまだ解明されていません。本 在 究の目的は、下腿内捻角の測定方法について、今回我々が考案した 測定法の信頼性を検討し、先天性内反足と下腿内捻症の関係を調査することです。 研究方法 対象患者さんのカルテ情報を改めて(後ろ向きに)確認し、性別、4 齢、診断名、手術日、術式、3DCT 画像、下腿内捻症の有無について 調査しました。 研究期間 承認日~2024年3月31日まで 研究に利用する情報 患者さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 →性別、年齢、これまでに撮影された骨盤・股関節の単純 X 線 算 真。患者さんもしくは代諾者が解析対象となることを拒否された 場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者まて ご連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析がまこなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなことで ない。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなこと		例、60 足(患側 30 足、健側 30 足)を対象としました。
反足と下腿内捻症の関係についてはまだ解明されていません。本を完の目的は、下腿内捻角の測定方法について、今回我々が考案した測定法の信頼性を検討し、先天性内反足と下腿内捻症の関係を調えすることです。 研究方法 対象患者さんのカルテ情報を改めて(後ろ向きに)確認し、性別、生齢、診断名、手術日、術式、3DCT 画像、下腿内捻症の有無について調査しました。 研究期間 承認日~2024年3月31日まで 研究に利用する情報 患者さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 →性別、年齢、これまでに撮影された骨盤・股関節の単純 X 線 2 真。患者さんもしくは代諾者が解析対象となることを拒否された場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者まで連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析がおこなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなこと	研究の目的・意義	先天性内反足では、内反足の治療後にもうちわ歩行が残存することが
空の目的は、下腿内捻角の測定方法について、今回我々が考案した 測定法の信頼性を検討し、先天性内反足と下腿内捻症の関係を調査 することです。 研究方法 対象患者さんのカルテ情報を改めて(後ろ向きに)確認し、性別、生態、診断名、手術日、術式、3DCT 画像、下腿内捻症の有無について調査しました。 研究期間 承認日~2024年3月31日まで 研究に利用する情報 患者さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 一性別、年齢、これまでに撮影された骨盤・股関節の単純 X 線算真。患者さんもしくは代諾者が解析対象となることを拒否された場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者まて連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析がまこなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなことが、また。		多く、その原因の一つに下腿内捻症が考えられていますが、先天性内
測定法の信頼性を検討し、先天性内反足と下腿内捻症の関係を調査することです。 研究方法 対象患者さんのカルテ情報を改めて(後ろ向きに)確認し、性別、4 齢、診断名、手術日、術式、3DCT 画像、下腿内捻症の有無について調査しました。 研究期間 承認日~2024年3月31日まで 研究に利用する情報 患者さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 →性別、年齢、これまでに撮影された骨盤・股関節の単純 X 線型真。患者さんもしくは代諾者が解析対象となることを拒否された場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者まて連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析が表こなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなこと		反足と下腿内捻症の関係についてはまだ解明されていません。本研
研究方法 対象患者さんのカルテ情報を改めて(後ろ向きに)確認し、性別、4 齢、診断名、手術日、術式、3DCT 画像、下腿内捻症の有無について調査しました。 研究期間 承認日~2024年3月31日まで 研究に利用する情報 患者さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 →性別、年齢、これまでに撮影された骨盤・股関節の単純 X 線 項。患者さんもしくは代諾者が解析対象となることを拒否され、場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者まで連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析がよこなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなことない。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなことを		究の目的は、下腿内捻角の測定方法について、今回我々が考案した
研究方法 対象患者さんのカルテ情報を改めて(後ろ向きに)確認し、性別、金齢、診断名、手術日、術式、3DCT 画像、下腿内捻症の有無について調査しました。		測定法の信頼性を検討し、先天性内反足と下腿内捻症の関係を調査
 齢、診断名、手術日、術式、3DCT 画像、下腿内捻症の有無について調査しました。 研究期間 承認日~2024年3月31日まで 研究に利用する情報 患者さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 →性別、年齢、これまでに撮影された骨盤・股関節の単純 X 線 2 真。患者さんもしくは代諾者が解析対象となることを拒否された場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者まで連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析がおこなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承くたさい。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなこと 		することです。
研究期間 承認日~2024年3月31日まで 研究に利用する情報 患者さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 →性別、年齢、これまでに撮影された骨盤・股関節の単純 X 線 真。患者さんもしくは代諾者が解析対象となることを拒否された場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者まで連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析がおこなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなこと	研究方法	対象患者さんのカルテ情報を改めて(後ろ向きに)確認し、性別、年
研究期間 承認日~2024年3月31日まで 思者さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 →性別、年齢、これまでに撮影された骨盤・股関節の単純 X 線 2 真。患者さんもしくは代諾者が解析対象となることを拒否された 場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者まで連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析がおこなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承くたさい。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなこと		齢、診断名、手術日、術式、3DCT 画像、下腿内捻症の有無について
研究に利用する情報 患者さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 →性別、年齢、これまでに撮影された骨盤・股関節の単純 X 線型真。患者さんもしくは代諾者が解析対象となることを拒否された場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者まで連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析が表こなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなこと		調査しました。
→性別、年齢、これまでに撮影された骨盤・股関節の単純 X 線型真。患者さんもしくは代諾者が解析対象となることを拒否された場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者まで連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析がおこなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなこと	研究期間	承認日~2024年3月31日まで
真。患者さんもしくは代諾者が解析対象となることを拒否された場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者まで連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析がおこなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなこと	研究に利用する情報	患者さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。
場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者まで連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析がおこなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなこと		→性別、年齢、これまでに撮影された骨盤・股関節の単純 X 線写
ご連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析がまこなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなこと		真。患者さんもしくは代諾者が解析対象となることを拒否された
こなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなこと		場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者まで
れている場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなこ		ご連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析がお
さい。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなこ。		こなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表さ
		れている場合には、対象から外すことはできません。ご了承くだ
は一切ありません。		
		対象となる方のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性
	開の方法	の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧また
は入手することができますので、お申し出ください。		は人手することができますので、お甲し出ください。
個人情報の取り扱い 診療録から抽出する情報は、個人を特定できないように、研究員	個人情報の取り扱い	診療録から抽出する情報は、個人を特定できないように、研究責
任者が氏名等、個人を特定できる情報を新しい符号に置き換えた		任者が氏名等、個人を特定できる情報を新しい符号に置き換えた
上で研究に使用します。		上で研究に使用します。

	データは研究責任者が USB メモリに保存し、鍵のかかる整形外
	科キャビネットに厳重に保管します。新しい符号と個人を特定す
	る対応表も同様に厳重に保管します。
	また、研究成果は、個人を特定できないようにして学会発表や論
	文などで報告します。
	研究終了後、直ちに試料・情報等を破棄・廃棄します。
問い合わせ先および	【研究責任者】
苦情の窓口	自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児整形外科
	病院助教 滝 直也
	〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1
	電話: 0285-58-7374
	【苦情の窓口】
	自治医科大学臨床研究支援センター臨床研究企画管理部管理部門
	電話: 0285-58-8933